

# 月刊 社会保険 3

2020 VOL.836

一般社団法人  
全国社会保険協会連合会



令和2年度 都道府県単位保険料率の決定について  
協会けんぽの令和2年度介護保険料率について  
令和2年度の年金額改定についてお知らせします。～年金額は昨年度から0.2%のプラス改定です～

日本年金機構からのお知らせ

被扶養者における国内居住要件の追加について

労働基準法の一部を改正する法律案の概要

雇用保険法等の一部を改正する法律案の概要

人生100年時代に向けた高年齢労働者の安全と健康に関する有識者会議報告書(概要)

令和2年度 都道府県単位保険料率の決定について	3
協会けんぽの令和2年度介護保険料率について	4
令和2年度の年金額改定についてお知らせします。～年金額は昨年度から0.2%のプラス改定です～	6
<b>日本年金機構からのお知らせ</b>	
被扶養者における国内居住要件の追加について	10
労働基準法の一部を改正する法律案の概要	12
雇用保険法等の一部を改正する法律案の概要	13
人生100年時代に向けた高齢労働者の安全と健康に関する有識者会議報告書(概要)	14
<b>社会保険・労働保険の手続きと届出様式</b>	
第11回 社会保険の育児休業等取得者申出書(新規・延長)／終了届 監修/社会保険労務士法人SKMオフィス	18
<b>年金・健康保険委員活動報告</b> 社会保険委員としての活動を通じて	
扶桑電機工業株式会社管理担当顧問 <small>やなぎた さとる</small> 柳田 悟	20
<b>書評</b> <small>えびはら つぶお</small> 海老原 嗣生著『年金不安の正体』	22
<b>持続可能な社会の扉を開けた人たち</b>	
第11回(前編) 聞き手が語る/人に街に社会に、サステイナビリティの資質を育み、豊かな未来をつくる。 株式会社朝日エル会長 <small>おかやま けいこ</small> 岡山 慶子	23
<b>日本とは異なるイタリアの高齢者事情</b> 第11回 Nuda Proprieta『裸の所有権』	
イタリア在住ジャーナリスト <small>あかねがくぼ てつろう</small> 西ヶ久保 徹郎	26
<b>認知症を予防する②</b> 第11回 睡眠の質/入浴との関係/認知機能	
お茶の水健康長寿クリニック院長 <small>しらさわ たくじ</small> 白澤 卓二	28
<b>社会保険Q&amp;Aシリーズ</b> 健康保険編 30/年金保険編 32/介護保険編 34/労働保険編 36	
特定社会保険労務士 <small>すずき</small> 鈴木 ひろみ	

表紙写真・竹内敏信/イラストレーション・水森亜土/デザイン・STデザイン、(有)フェイム/編集協力・(株)アップルハウス/印刷・(株)エイエヌオフセット

表紙のこぼれ —— 竹内敏信 「光の響」**水の風景**

東京都文京区小石川植物園



赤く美しきつばきの花を、少し隠すように雪が積もりだしている。  
つばきは12月から3月に咲く。そのため、雪と一緒に撮るのはそこまで難しくはないと考えられる。  
しかし昨年、春桜が咲く頃に雪が降り、まさに「花隠し」という状況が訪れた。  
近年、どの季節にも寒暖差が激しく、人々が苦しめられているのと同時に自然風景にも変化が起きている。われわれはその状況を見つめ、この自然がいかに大切なものであるかを考えるときが、まさに今ではないだろうか。

© 本誌制作にあたっては、国等からの補助金等を一切受けておりません。

# 社会保険委員としての活動を通じて



扶桑電機工業株式会社管理担当顧問  
柳田 悟

## ●活動地域の紹介

私たちが活動している兵庫県明石市は、淡路島の北部にあり、淡路島との間には「明石鯛」「明石蛸」の獲れる瀬戸内海(播磨灘)があります。明石大橋は、夜間にはライトアップされて、市内の多くの場所から美しく眺められます。

1886(明治19)年、日本標準時を刻む東経135度線が「日本標準時子午線」と定められました。子午線上には多くの街がありますが、1910(明治43)年日本標準子午線が明石を通っていることを示す標識が立てられたことから、「子午線の街」といわれるようになったようです。

子午線上の「明石天文学科学館」には、日本の標準時を刻む大時計(3代目の時計)が設置され、全国に時刻を伝えています。

1919(大正8)年11月に市制が施行され、明石郡明石町から明石市になり、2019(令和1)年11月に市制施行100周年を迎えることになりました。

1931(昭和6)年には、明石市大久保町の通称「屏風ヶ浦」海岸で人間のものと思われる腰骨が発見され、人類学者の長谷部言人により「明石原人」と名づけられました。しかし、最近では形態学的研究等によって、縄文時代以降の人間である可能性がある指摘されているようです。

JR明石駅前には、県立明石公園(54

8ha)があり、多くの樹木や植物が見られるとともに、幾多のスポーツ施設がつけられ、そのうちのひとつである野球場は、全国高等学校軟式野球大会の決勝戦の会場として使用されています。

また、公園内にある明石城(喜春城)は、今から400年前の1619(元和5)年に、譜代大名である初代明石藩主小笠原忠政(後の忠真)が、外様大名の多い西国への備えとして徳川幕府2代将軍秀忠から命じられて築城しました。

本丸跡に建つ巽櫓・坤櫓は、日本には12基しか現存していない三重櫓のうち2つで、国の重要文化財に指定されています。

明石駅の近くの「魚の棚」「入丸神社」「稲爪神社」にある素盞鳴が大蛇退治した神話を模した彫刻は、左甚五郎作との言い伝えがあります。

近辺にお越しになった際には、是非1度「明石」を散策していただければと思います。

## ●事業所の紹介

当社は、明石市砦町にあり、JR明石駅・山陽電鉄明石駅から南西方向へ2km程度、山陽電鉄西新町駅から西へ5分のところにあります。

1951(昭和26)年、初代社長が神戸で創業し、1962(昭和37)年現在のところに新築移転してきました。産業用電気製品の製造メーカーとして68年が経



等の製造メーカーの機械や設備です。当社では、設計から製造、試験まで一貫して生産しています。

## ●社会保険委員としての活動

私が社会保険委員に委嘱されたのは、1976(昭和51)年1月のことでした。

前任者の退職により委嘱受けましたが、なにをすればよいのかわからない状況にもかかわらず、前任者が社会保険委員会の副会長をしていたため、この役職もあわせて引き継ぐことになりました。

入社後4年、社会保険業務担当になったから2年日のことで、社会保険委員会がどのようなものかまったくわからない状態でした。

会長をはじめ多くの方々の指導を受けながら10年日に入った頃の1985(昭和60)年、会長がお亡くなりになり、そのまま会長職を仰せつかることになりました。

1988(昭和63)年には、社団法人全国社会保険協会連合会主催の社会保険事業の海外視察に参加させていただき、ヨーロッパ5カ国の各種施設の訪問と各都市の社会福祉事業の在り方などを教授いただき、その思想や実務の在り方などは現在の委員活動に非常に役に立っています。

1991(平成3)年には、明石社会保険事務所が分割され、新しく加古川社

会保険事務所が新設されることになり、当時の所長と打合せをする。同時に、行政官庁ごとに各県内の市区の管轄区域が異なっているなど多くを学ぶことができました。

2008(平成20)年には、政府管掌健康保険が協会けんぽとなり、公法人として活動することになりました。それに伴い健康保険委員を委嘱されることになり、今後の在り方や研修方法などいろいろと協議しました。

2010(平成22)年に社会保険庁が廃止されたことにより日本年金機構が発足し、社会保険委員会がどのような判断がつかない状況で、今後の委員会活動についてどのようにすればよいのか困っていました。しかし、今後も社会保険業務(年金事業の推進等)の円滑な運用、各事業所の社員に対する年金相談などを推進するために従来どおりの活動を行っていくことにしました。

企業内の取組みについては、健康管理に力を入れ、健康診断の項目の中に、「ピロリ菌」や「前立腺がん」等を診断項目に入れ、より健康的で快適な職場づくりをめざしています。

高齢化が進む中、年金や60歳以降の勤務などについての相談が多くなり、2013(平成25)年に定年年齢を60歳から65歳に変更し、かつ本人の申出により65歳以降の継続雇用にも取り組みました。社内全体での平均年齢は上がりまし

たが、技術・技能の継承や製品等に対する充分な知識を使うことで、メンテナンス改造工事等に力を発揮でき、若年者も少しずつ成長していくところが見られています。

今後は、高齢者がより元気に社会生活を長くつづけられることを目的にヘルスケアシステムを充実させ、介護費用・医療費の削減に少しでも協力できるよう社内でも取り組んでいきたいと考えています。

## ●社会保険委員会の現状と取組み

現在当委員会には、明石地区委員会、淡路地区委員会、中播地区委員会、組合地区委員会の4地区委員会があります。各地区役員の高齢化が進むとともに、若年者が役員になってももらえないため、地区の活動が休止している委員会があります。

私の活動期間中には、ドルシヨック、オイルシヨック、リーマンシヨック等があり、経済環境が下降させることによる事業の縮小や廃業、また各中小企業では事業主の高齢化により廃業する事業所もあり委員会の人数も減少している状況です。

しかしながら、明石年金事務所においては2019年8月現在、年金委員は429名と兵庫県下では最も多く登録されている事務所であり、委員会への加入を促すため一部地区委員会では活動状



扶桑電機工業株式会社

況などの資料を配布して委員の増加に励んでいます。

社会情勢は、高齢化・就労人口の減少という中で、年金事業・健康保険事業は収入(保険料)の減少と高齢化による医療費の増大で、特に、健康保険組合等ではますます深刻な時期を迎えるものと思われま

委員会の今後は、各地区の委員会への加入者増や各地区の活動がより活性化するように情報を提供したり、年金事務所および協会けんぽ、社会保険協会等と力をあわせ、年金委員や各担当者に対し社会保険関連や医療費の削減に結びつくような講習会を実施する等の対策を推進していけるようがんばっていききたいと思っています。

(明石社会保険委員会委員長)